

早くお申し込みください
申しこられれば、贈り物のプレゼントが
お楽しみいただけます
sastoreyspbk.com

日本人のための文化サロン

日本にいるときと同じようにお楽しみ
子どもから大人まで楽しく日本語でレッスンできます。
ピアノ・声楽・リトミック・書道・絵画・折り紙・イタリア語クラス
オンラインでも/好きなスタイルレッスン・通訳・翻訳サービス

文化サロン ベルガモ
Via Frossi, 24
20146 Milano

電話: +39 345-9960770
info@bellamusica.com
bellamusica.com

CiNO!
JOURNAL
No. 13

出発進行
Pronti partenza, via!

Curiosare il Giappone
articoli in italiano nelle pag.10-16

わくわくするイタリア新聞



アオスタ渓谷の中央に位置する村莊アオスタ。ドレー・バルチア川が流れる。
(C)Foto by: Taylor & Francis/Alamy/Alamy.com



気軽に行ける
～旅の始まりは



イタリア23州のうち最も小さい州をご存知ですか？ 答えは最も北西に位置するヴァッレ・ダオスタ州です。西に隣るモンテ・ピアンコ（モンブラン）の向こうはフランスで、北のチェルヴィニョ（マッターホルン）の向こうはスイス。Valle d'Aosta（アオスタ渓谷）の名の通り、美しく険しい山にいくつもの渓谷が走っています。モンブラン群のクワールマイユールから湧き出て南東へと流れるドレー・バルチア川（Dora Balza）は、アルプスの

雪解け水を集めて所内を走り、やがて南側のピエモンテ州に入るとイタリア最大の川に合流します。
ドレー・バルチア川が流れるアオスタ渓谷から南東（東北）に向ける新しい道の沿、その谷ごとに広がる豊かな自然の中で、人々はどんな生活に暮らしているのでしょうか？ 公明証は伊仏2ヶ国語で通話可能にも2ヶ国語の英語が併記されていますが、今も土地の人に話されているのは「バグッパ」、アオスタ渓谷特有の言葉です。会話に頻りに登場する「フェム、フェム」は、イタリア語の「はい、はい」、フランス語の「Oui, Oui」にあたります。

に置換（つるど）が立てられ、「ピルン」と呼ばれる独特の古い石造り構造物が並び、それがそれを支えます。葉巻型には高さしがいというメリットもあり、また山中でせられた石造りピルンが日没後にゆっくりと蒸散することで、急激な気候の変化が起らないように調整されるのです。



上はピエモンテ州の村莊アオスタに位置する村莊アオスタ。ドレー・バルチア川が流れる。下はピエモンテ州の村莊アオスタに位置する村莊アオスタ。ドレー・バルチア川が流れる。

今後は、アオスタの中でも路線バスなどを利用して気軽に足を伸ばすことができるバグッパ・バグッパ地域（Bassa Valle d'Aosta）を楽しみましょう。

バグッパ・バグッパ
南東から村莊アオスタにかけての地域は「低い谷」（バグッパ・バグッパ）、そこからクワールマイユールにかけての北西地域は「高い谷」（アルタ・バグッパ）と呼ばれ、北東のチェルヴィニョアなどの山岳部はどちらにも属さないエリアです。

ピエモンテ州から渓谷に向かって行くと、イヴレア市を過ぎた辺りから南東の気候が変ります。林檎のカシメマ（ピエモンテ州）やドンナス（アオスタ州）辺りでは、ぶどう畑の大きな樹木に産卵されるでしょう。切り立つ岩山に、大きな石を組んで作った段々畑がまじりにへりつくように築かれています。渓谷の狭い土地と日照時間を有効に活かすため

に、組合を作って収穫期を調整し、各農家が責任をもって収穫・選別したぶどうを組合のカンティーナに運び込み、まとめて醸造しています。花畑されているのは南ピエモンテの赤ワイン（ピロロやバルバレスコ）と同じネッピオロ品種。渓谷の風土から生まれたワインを、標の高さ（Lardo d'Arsiad）や標の高さ（Lardo d'Arsiad）や標の高さ（Lardo d'Arsiad）をみつめていったアオスタも標高（Lardo d'Arsiad）に似ています。

石壁工
アオスタ渓谷では名の通りが通ります。壁や橋、家の壁などなどにどっしりとした石が使用されています。特にバグッパ・バグッパ地域では非常に加工しやすい石が採れ、赤い土に最適なシチューラや、火が通った後も赤みを帯びたストロブなどとして、人々の暮らしを支えています。
カシメマとドンナスの間にある町ピエモンテ・マルタンに築かれた大きな石壁は、紀元前1世紀のもの、標高のたもとの広域にある伊豆野